

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果と考察

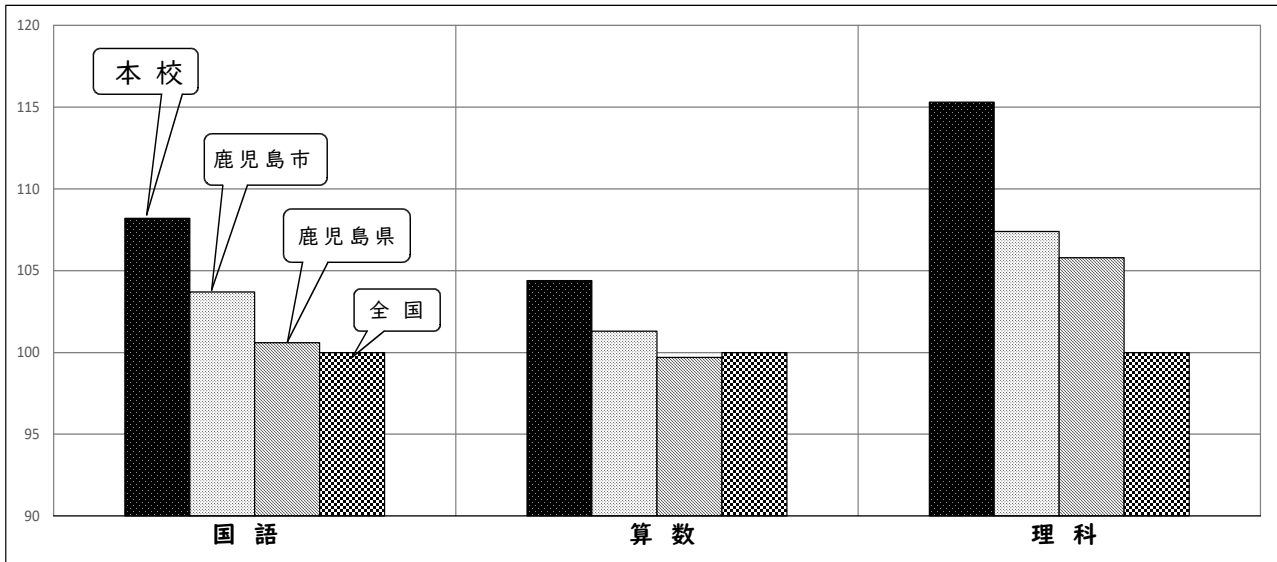
谷山小 学力向上係

## 1 学力調査について

(1) 教科の平均正答率一覧 (全国の平均を100としたときの値)

		国 語	算 数	理 科
全 体	本 校	71(108.2)	66(104.4)	73(115.3)
	鹿児島市	68(103.7)	64(101.3)	68(107.4)
	鹿児島県	66(100.6)	63(99.7)	67(105.8)
知識・技能	本 校	79	70	76
	全 国	71	68	63
思考・判断・表現	本 校	65	61	70
	全 国	62	57	64

(2) 全体の正答率のグラフ (全国の平均を100としたときの値)



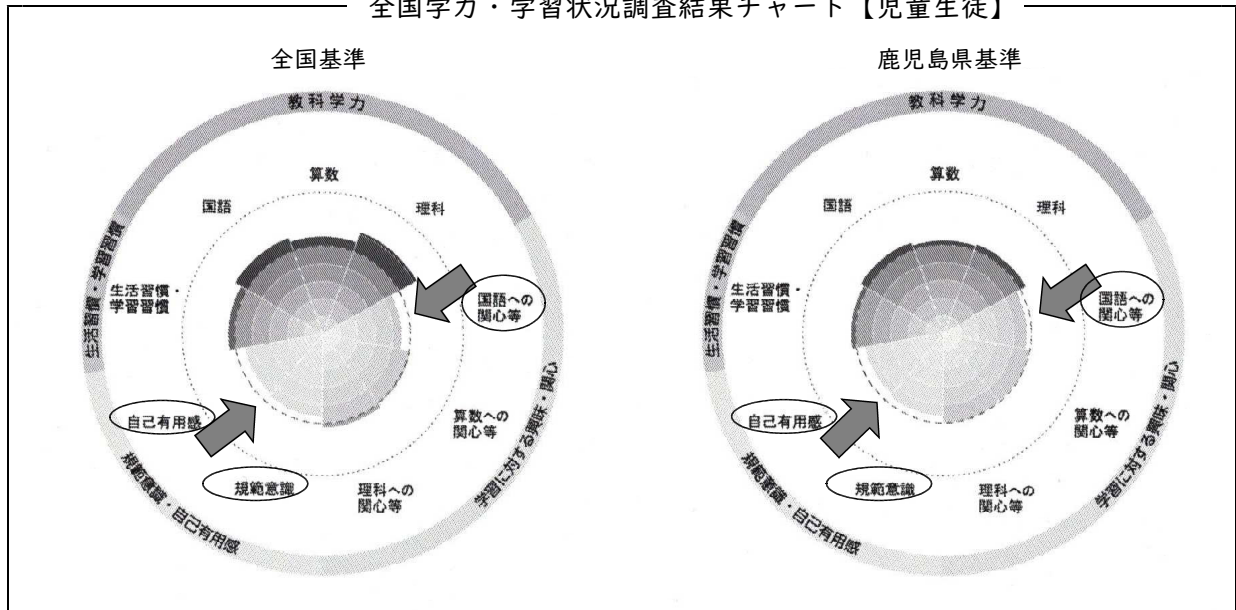
(3) 児童質問紙の調査結果

※『学びに向かう力』の土台となる情意や態度の中の「自己肯定感」、「粘り強さ」、「自己調整力」についての項目を取り上げた。

質 問 事 項		本校	県	全国
<b>自己肯定感</b>				
7	自分にはよいところがあると思いますか。	25.2	32.4	39.4
8	先生は、あたなのよいところを認めてくれていると思いますか。	30.3	38.8	46.3
<b>粘り強さ</b>				
10	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。	36.3	38.5	38.8
11	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	20.6	25.7	27.6
<b>自己調整力</b>				
17	自分とは違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	23.2	30.7	30.4
44	学習した内容について分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	34.2	33.3	33.2

(4) 考察

全国学力・学習状況調査結果チャート【児童生徒】



- ◎ 本校の教科学力の結果は、国語・算数・理科全てにおいて、全国及び県、市の平均を上回っている。
- 生活習慣や学習習慣に対する意識は、全国や県と同等である。
- △ 国語への関心等が、算数や理科に比べて低く、全国や県より低い。
- △ 自己有用感や規範意識、粘り強さ、自己調整力に関する項目が全国や県より低い。

「確かな学力」の定着には、学びに向かう力、自己マネジメント力（学習の自己調整力、自己肯定感や自己有用感、粘り強さ等）を身に付けさせることも重要である。

【課題に向けた取組】

- ★ 自己肯定感を高めるために、家庭とも連携して、「子どもを褒める言葉がけ」を行い、自信をもたせるようにする。
- ★ 自己調整力を育むためには、「振り返る力」が大切である。  
授業の最後に、何が「分かったか・できたか」や「どのようにしてできるようになったのか」を記述したり、友達と交流したりするようにする。